






※ 事故事例に添付してある画像は、事案とは関係ありません。

1 登下校時

<p>【交通事故】</p>  <p>【交通事故の主な要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 飛び出し ② 悪ふざけ ③ 信号無視等の横断違反 ④ 一時停止、左右確認不足 	<p>【事故の概要】</p> <p>【徒歩】 小1男子児童が、通学路を登校中、横断歩道を渡っている際に、軽乗用車が車体の右前方部分で本児童をはね、さらに対向してきた普通乗用車が、本児童をはねた。</p> <p>【自転車】 自転車で走行中、すれ違うトラックを避けようとして転倒した。</p> <p>【事故防止策】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 「気付き、危険を予測し、回避する力」を育成する。 (2) 常に時間に余裕をもって行動するよう声かけをする。 (3) 交通ルールやマナーを守る、複数で登下校するよう指導する。
<p>【水難事故】</p>  <p>【水難事故の主な要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 海、川、池での釣り、水遊び、遊泳等 ② 登下校時の水辺遊び 	<p>【事故の概要】 小3女子児童が、通学路を一人で下校していた。雨が降って水量が増えた側溝に近づき、流された。</p> <p>【事故防止策】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 普段は、安全な場所も天候や時間帯等によっては、危険な場所になることを指導する。 (2) 用水路や川、海等に児童生徒だけで興味本位で入ったり、遊んだりしないよう指導する。 (3) 危険箇所等の点検を行う。
<p>【その他】 不審者による声かけ等 → 「いかのおすし」の徹底、複数で行動 等</p>	


2 学習活動、休み時間等

<p>【転落事故】</p> 	<p>【事故の概要】 小4男子児童が、休み時間に風で位置のずれていた展示物を元に戻そうと窓近くにあった棚に乗ったところ、バランスを崩し、開いていた窓から転落した。</p> <p>【事故防止策】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 窓際には児童生徒が登り、転落事故につながるような机等を設置しない。 (2) 棚には絶対に乗らない等のルールを徹底する。 (3) 窓枠や手すり部分に負荷を与え、接合部分のネジの緩み等の安全確認を行う。
<p>【授業：保健体育】</p>  <p>飛び込みによるスタートの禁止</p>	<p>【事故の概要】 中2男子生徒が、水泳の授業中、飛び込みをしたときに、プールの底で頭部を強打した。</p> <p>【事故防止策】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 小・中学校では、水中からのスタートのみを指導し、授業での飛び込みによるスタートは、絶対に行わない。 (2) 高い位置から水中を注意深く監視する。 (3) バディ（二人組）による相互チェック体制の徹底を図る。 (4) 排水口の蓋、破損箇所等の点検を行う。
<p>【授業：理科】</p> 	<p>【事故の概要】 小6の男子児童が、アルコールランプを移動させ、斜めにして蒸発皿を温めたとき、アルコールランプから引火し、左手を伝って顔面の左部分をやけどした。</p> <p>【事故防止策】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 実験上の留意点について、指導を徹底する。 (2) よけいなものを机上に置かない等の学習ルールを徹底する。 (3) 火気を扱う等の危険を伴う実験の際は、きめ細かく周囲の安全確認に気を配るよう指導する。


3 給食時間、昼休み時間、清掃時間等

<p>【給食時間】</p> 	<p>【事故の概要】 小5女子児童が、乳製品にアレルギーがあるにもかかわらず、おかわりを希望して、担任からチーズが入ったチヂミをもらい、知らずに食べてしまった。</p> <p>【事故防止策】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 生活管理指導表による個別対応の情報共有を全職員で行う。 (2) アレルギー除去食が、確実に本人に渡すよう、チェック体制を整える。 (3) アナフィラキシー症状の特徴を理解するとともに、エピペンの打ち方や緊急連絡体制の研修を全職員で行い、共通理解を図る。
<p>【昼休み時間】</p> 	<p>【事故の概要】</p> <p>【鉄棒事故】 中3男子生徒が、鉄棒にぶら下がった際、支柱が腐食していたため、鉄棒ごと転倒し、後頭部の裂傷を負った。</p> <p>【ゴールポストによる事故】 中2男子生徒が、同級生3人と運動場でサッカーボールを使って遊んでいる際に、風にあおられてサッカーゴールが倒れ、ゴールの上部のバーで頭部を強打し、死亡した。</p> <p>【事故防止策】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 定期的にサビや腐食、固定の状況等を目視するだけでなく、打音、振動、負荷、作動等を組み合わせた点検方法で確認する。 (2) 危険であれば使用禁止し、迅速に改善を図る。
<p>【清掃時間】</p> 	<p>【事故の概要】 小2男子児童が、掃除の準備時間に、雑巾を投げて遊んでいた。キャッチするときに滑って転んだ。</p> <p>【事故防止策】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 道具の取扱方法及び危険性について指導する。 (2) 作業用具等の安全点検及び整理整頓を行う。

4 課外活動（部活動）

<p>【部活動】</p> 	<p>【事故の概要】 中3男子生徒が、バッティングの練習中、背後にあった防球ネット（高さ2m×幅3m）が強風にあおられて倒れ、生徒の後頭部から首にかけて直撃した。</p> <p>【事故防止策】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設・設備・用具等の安全な使い方や環境づくりに努める。 (2) 運動の特性を踏まえた科学的で合理的な指導を行う。 (3) 天候や気象を考慮した指導を行う。
<p>【その他】 熱中症 → こまめな水分補給、汗をかいたら塩分（ナトリウム）補給 日陰等での休憩 等</p>	

5 霧島山噴火（新燃岳、硫黄山 等）

<p>【噴火の概要】 （新燃岳） 平成29年10月11日 6年ぶりに噴火 平成30年3月1日 再噴火 現在（R5.7.14） 噴火警戒レベル1 （活火山であることに留意）</p>	<p>【1 事前の危機管理】（備える）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①体制整備と備蓄 ②定期的な安全点検（天井材、外装材、照明、棚、避難経路、避難場所等） ③避難訓練（噴火を想定した訓練で実践力を育成） ④教職員研修（噴火発生時の連絡体制の確認） <p>【2 発生時の危機管理】（命を守る） 初期対応：安全を確保（屋内へ避難、マスクやヘルメットの着用） 二次対応：素早い情報収集（噴火規模、風向き等）</p> <p>【3 事後の危機管理】（立て直す） 引き渡し、安否確認、心のケア等</p> <div style="text-align: right;">  <p>霧島山（新燃岳）に関する情報は、こちらのQRコードから</p> </div>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------